

# 水産加工原材料の 国産化と平準化<sup>③</sup>



水産物安定供給推進機構  
専務理事兼事務局局長 坂井眞樹

## 食料安全保障にも寄与

海洋環境の変動という自然のもたらす脅威に漁業者だけでなく水産庁も、海産業者団体などの実施主体が販売リスクを負うことからの、当機構を通じて、保管経費、加工料、運送料、買い取り代金の金利などに対する国費助成が行われている。

平準化事業によって買入れられた水産物は調整保管を経て端境期で加工原料が不足する時期に売り渡される。水揚時に流通に乗せようとしても一定量を超えれば、本来加工用に向けられるべき魚が餌料用に回され、中には廃棄せざるを得ないし、国産資源を有効利用

環境変動の影響によって、産地が移動しこれまで加工したことがない魚種が水揚げされることが増えている。漁獲期間が短期化して水揚げが集中する

# 平準化で生かす国産魚

傾向もみられている。産地の冷凍保管機能を補完するための、平準化事業の技術的強化が必要となっている。平準化事業は、正式名称を特定水産物供給平準化事業といい、魚価低迷時に漁業者団体などによる漁獲物の調整保管を行って魚価を下支え

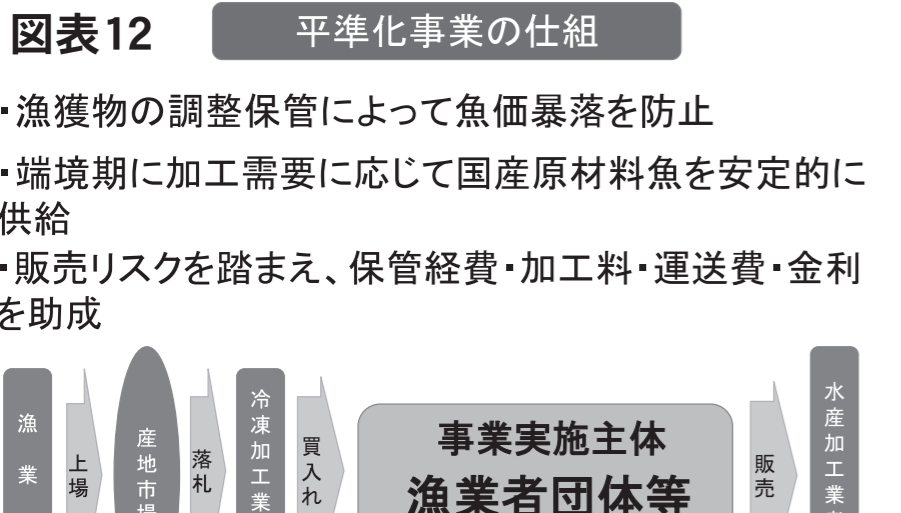
品製造に取り組み、フレイル製造中に出てくる端材の有効利用を図るとともに、深絞り型真空包装機を導入することで、手作業で行ってきた真空包装を機械化し、生産効率を高めて、業務需要に加えて、新たに、消費者向けの切身製品の販路開拓に取り組んでいる。

## 進む輸入からの転換

こうした状況に対応するために、平準化事業の技術的強化が必要となっている。平準化事業は、正式名称を特定水産物供給平準化事業といい、魚価低迷時に漁業者団体などによる漁獲物の調整保管を行って魚価を下支え

品製造に取り組み、フレイル製造中に出てくる端材の有効利用を図るとともに、深絞り型真空包装機を導入することで、手作業で行ってきた真空包装を機械化し、生産効率を高めて、業務需要に加えて、新たに、消費者向けの切身製品の販路開拓に取り組んでいる。

## 進む輸入からの転換



品製造に取り組み、フレイル製造中に出てくる端材の有効利用を図るとともに、深絞り型真空包装機を導入することで、手作業で行ってきた真空包装を機械化し、生産効率を高めて、業務需要に加えて、新たに、消費者向けの切身製品の販路開拓に取り組んでいる。

品製造に取り組み、フレイル製造中に出てくる端材の有効利用を図るとともに、深絞り型真空包装機を導入することで、手作業で行ってきた真空包装を機械化し、生産効率を高めて、業務需要に加えて、新たに、消費者向けの切身製品の販路開拓に取り組んでいる。